

ミニディスク チェンジャーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDLP

MDX-66XLPRF



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

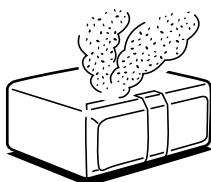
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡やけがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたリ自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告	4
⚠ 注意	5
使用上のご注意	6

準備

まず、本機をリセットする	10
リモコンを準備する	11
MDを入れる	12
各部のなまえ	14

ここだけ読んで使えます

MDを聞く	16
ディスクを選ぶ	18
曲の頭出しをする	19
聞きたいところを探す	19
表示の見かた	20
繰り返し聞く （リピート演奏）.....	21
曲順を変えて聞く （シャッフル演奏）.....	21

設定

送信周波数を設定する	22
出力レベルを設定する	23

付録

故障かな？	24
保証書とアフターサービス	25
主な仕様	26
索引	27



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の実取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

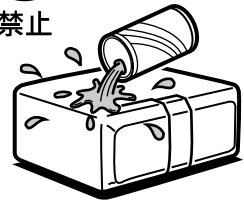


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

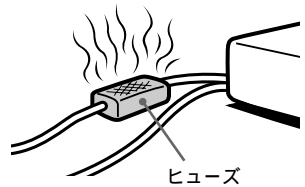


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたは本体に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



禁止



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



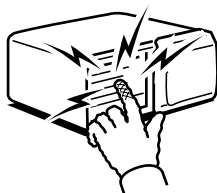
下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止



電池についての安全上のご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。



- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

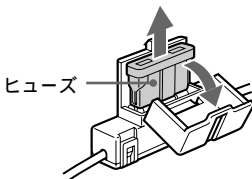
使用上のご注意

ディスプレイの表面を傷めないために

ディスプレイ表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ず、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



液晶表示について

極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示にもどります。

MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていて、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれま

す。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



置き場所について

直射日光が当たるところなど温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



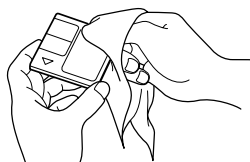
良い音で聞くために

車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように十分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



定期的にお手入れを

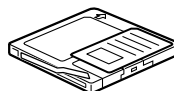
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDがチェンジャーから取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



使用上のご注意(つづき)

結露について

寒いときヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、MDを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、アフターサービスをお申しつけください。

表示窓の結露について

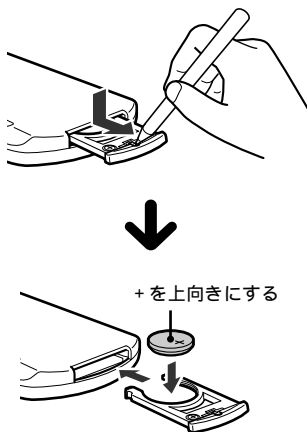
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくと結露が取り除かれ正常に戻ります。

カードリモコン

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約6か月もちます(使用方法によっては短くなります)。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠ 警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠ 注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。(特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。)
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、ディスプレイのリモコン受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

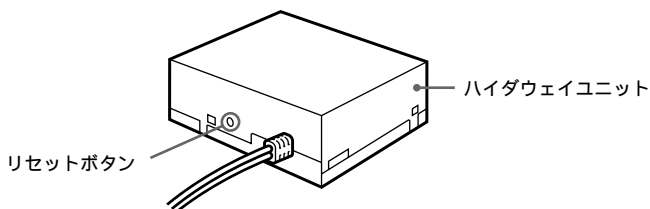
はじめに

MDチェンジャーの音声をFM信号に変換して送信し、FMチューナーで受信して聞くことができます。

主な特長

- 長時間再生 (MDLP) 機能。
- MDの出し入れがより簡単なダイレクトイン方式。
- コンパクトなサイズでグローブボックスやコンソールボックス内など、スペースを有効に利用した設置が可能。
- 車のイグニッションキーがONのときは内部が点灯し、夜間の操作性が向上。
- 1bit D/Aコンバーターで音質が向上。
- 快適操作のワイヤードリモコンとカードリモコンが付属。

まず、本機をリセットする

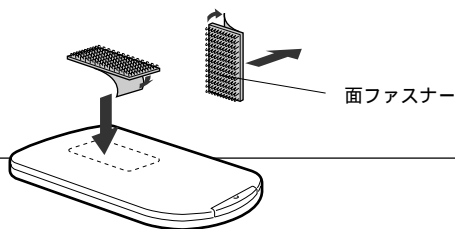


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、ハイダウェイユニットのリセットボタンをつま楊枝の先などで押す。

ご注意

- 針のようなもので強く押すと、故障の原因となります。
- リセットボタンを押すと、送信周波数 (22ページ) など、設定した内容で消えるものがありますので、設定し直してください。

リモコンを準備する



車内に取り付ける

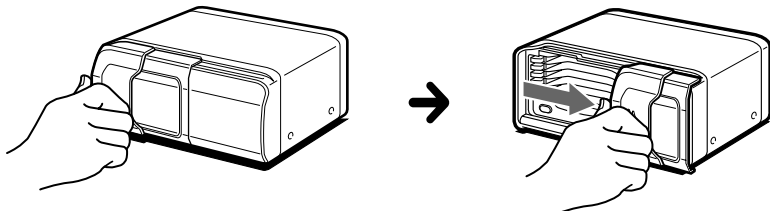
裏面に付属の面ファスナーを貼り、操作しやすい場所に取り付ける。

ご注意

- 取り付ける前に、取り付けようとする場所からカードリモコンで本機を操作できるかどうか確認してください。
- 取り付け場所の表面をきれいに拭いてから貼ってください。
- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置したりしないでください。熱によりカードリモコンが変形する恐れがあります。直射日光の当たるところに車を駐車するときは、カードリモコンをはずしてグローブボックスの中など直射日光の当たらない場所に保管してください。

MDを入れる

1 「カチッ」と音がするところまでドアを開ける。



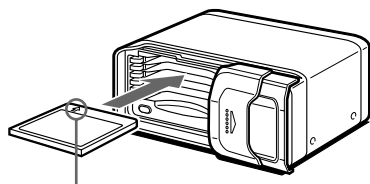
車のイグニッションキーがONのときは内部が点灯します(イグニッションキーがOFFの時には、ドアが開くと約1分間点灯します)。

ドアを開閉するときのご注意

ドアの透明部分を強く押しついたりしないでください。破損やけがの原因になります。

けがの原因となりますので、チェンジャーの内部に手を入れしないでください。

2 「カチッ」と音がするところまでMDを入れる。

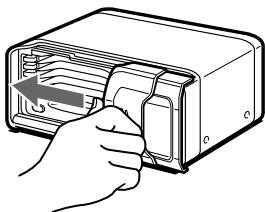


ご注意

MDのシャッターが閉まっていることを確認してから入れてください。

レーベル面を上にして、矢印の向きに入れる

3 「カチッ」と音がするところまでドアを閉める。



ご注意

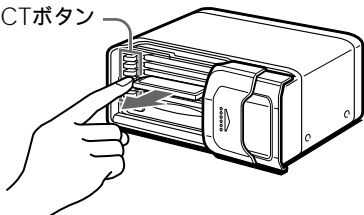
MDを入れてドアを閉めたときや、リセットしたときは、本機が自動的に動作して、MDの情報を読み取ります。本機内のすべてのMDの情報を読み終わると停止します。その際内部が点滅しますが、故障ではありません。

必ずドアを閉めてください。

ホコリやゴミが入ると、内部の光学系のレンズが汚れて音飛びの原因となります。また、異物が入ると故障の原因となります。

MDを取り出すにはEJECTボタンを押す

EJECTボタン



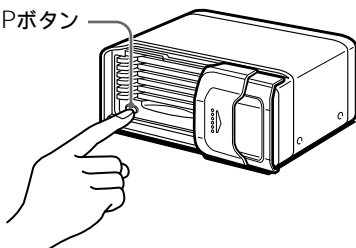
再生をしていないMDはいつでも取り出すことができます。

ご注意

- MDを2枚以上取り出すときは、上のディスクから1枚ずつ取り出してください。
- MDが再生中や読み取り中で取り出し位置にないときは、EJECTボタンを押さないでください。

再生位置にあるMDを取り出すにはSTOPボタンを押す

STOPボタン



MDが取り出し位置に戻ります。

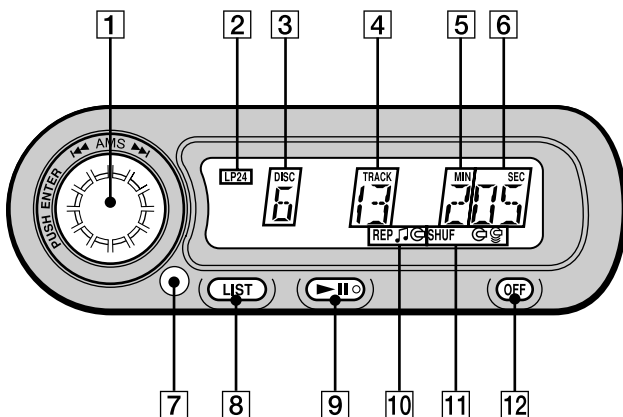
つづいてEJECTボタンを押し、MDを取り出します。

再生中のMDおよび再生位置にあるMDは、この方法で取り出せます。

各部のなまえ

ディスプレイ(RM-X85RF)

内のページに詳しい説明があります。



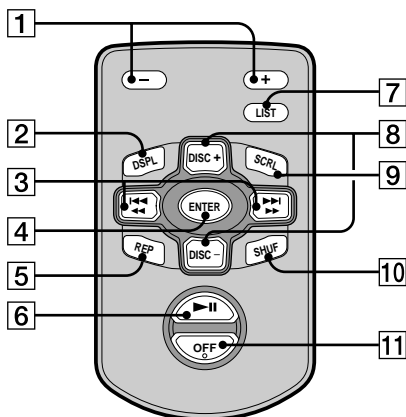
- エー・エム・エス エンター
- 1 AMS/ENTER(頭出し/選択/決定/周波数設定/出力レベル設定)ダイヤル
18 19 22 23
 - 2 LPモード表示 17
エルピー
ディスク
 - 3 DISC(ディスク番号)表示
トラック
 - 4 TRACK(曲番号)表示
ミニット
 - 5 MIN(分)表示

- セコンド
- 6 SEC(秒)表示
 - 7 リモコン受光部
リスト
 - 8 LIST(ディスク名表示)ボタン 16
 - 9 ▶|| (MD再生/一時停止)ボタン 16
リピート
 - 10 REP(リピート演奏)表示 21
シャッフル
 - 11 SHUF(シャッフル演奏)表示 21
オフ
 - 12 OFFボタン 16 17

ACCポジションのないお車のときは

OFFボタンを押して電源を切ってください。ディスプレイ表示が点灯したまま車を離れると、バッテリーあがりの原因となります。

カードリモコン(RM-X86RF)



1 +/- ボタン 18 22 23

ディスプレイ

2 DSPL (表示切換) ボタン 20

エーティエス マニュアル

3 AMS/MANU/◀◀◀/▶▶▶ (頭出し

/ 早送り・早戻し) ボタン 19

エンター

4 ENTER (決定 / 周波数設定 / 出力レベ

ル設定) ボタン 18 22 23

リピート

5 REP (リピート演奏) ボタン 21

6 ▶|| (MD再生 / 一時停止) ボタン 16

リスト
7 LIST (ディスク名表示) ボタン 18

ディスク

8 DISC +/- (ディスク切り換え) ボタン

18

スクロール

9 SCRL (スクロール) ボタン 20

シャッフル

10 SHUF (シャッフル演奏) ボタン 21

オフ

11 OFF ボタン 16 17

ご注意

電源が切れている状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶||ボタンを押してください。

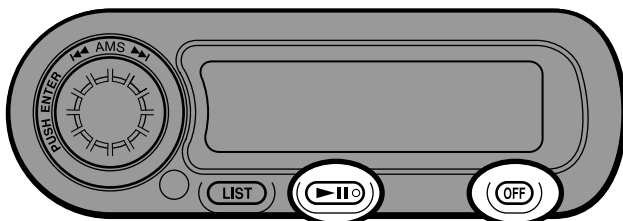
ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(9ページ)をご覧ください。

MDを聞く

1 カーオーディオのFMチューナーを本機で設定した周波数に合わせる

初期値は88.3MHzです。



2 ▶||ボタンを押すと再生が始まる

プレイ/ポーズ
(▶||ボタン)



再生中に押すと一時停止します。

電源を切る
オフ
(OFFボタン)

音量 / 音質について

カーオーディオ側で調節します。

ご注意

- MD再生中は、チューナー側を放送局の周波数に合わせても放送を聞くことはできません。
- MD再生を止めるとスピーカーからザーという雑音ができます。カーオーディオの音量を下げてから再生を止めるようにしてください。
- 送信周波数および出力レベル設定中は▶||ボタンは働きません。

ご注意

電源が切れている状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を起動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶||ボタンを押してください。

再生を止める（電源を切る）

OFFボタンを押します。

ラジオをお聞きになるときには

OFFボタンを押してからラジオをお聞きください。

本機の電源が入っていると雑音が入りラジオを聞くことはできません。

エムディーエルビー

MDLPについて

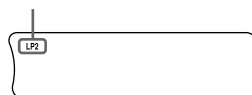
従来のMDの音声圧縮方式、“ATRAC”の約2倍の圧縮効率を持つ“ATRAC3”を音声データ圧縮コーデックに採用したMDの新圧縮フォーマットです。

既存の80分ディスクを使用した場合、LP2モードで最長160分、LP4モードで最長320分の長時間録音・再生が可能です。

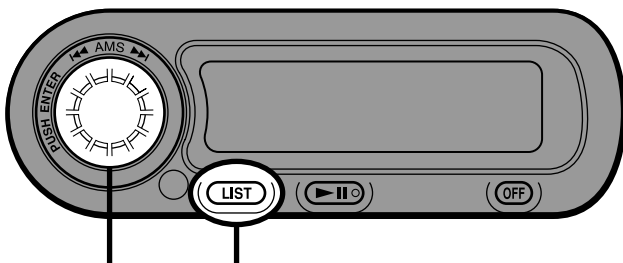
MDLP対応のデッキなどで録音されたディスクを挿入すると、本機は自動的にLPモードを読み取り、ディスプレイにモードを表示します。

LP2：LP2ステレオ再生時

LP4：LP4ステレオ再生時



MDを聞く(つづき)

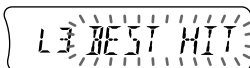


ディスクを選ぶ^{リスト}(LISTボタン)



1 LISTボタンを押す。

再生中のディスクの名前を点滅表示します。



2 ダイヤルを回して、聞きたいディスクを選択する。



3 ダイヤルを押して、決定する。

再生が始まります。

ご注意

ディスク名のリスト画面には、次の表示が出る場合があります。

- ・「NO DISC」: ディスクが入っていない。
- ・「*****」: ディスクの名前が記録されていない。
- ・「NOT READ」: ディスクの情報を読み込んでいない。

カードリモコンで操作するには

以下のボタンを押して同様の操作ができます。



1 LISTボタンを押す。



2 +/- ボタンを押して、聞きたいディスクを選択する。



3 ENTERボタンを押して、決定する。

ご注意

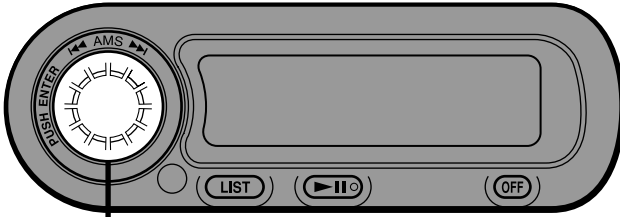
- ・ リスト表示中に5秒以上操作しないと通常の画面に戻ります。
- ・ 送信周波数および出力レベル設定中はLISTボタンは効きません。

ちょっと一言

ディスク選択をキャンセルするには、手順3の前にLISTボタンを押します。



DISC +/- ボタンを押しても、ディスクを選択できます。
次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換ります。



曲の頭出しをする (AMSコントロール)



ダイヤルを回しつつ、聞きたい曲で離します。
1曲目の前は最終曲、最終曲の次は1曲目となります。

カードリモコンで操作するには

エーエムエス / マニュアル
AMS/MANUI◀◀◀/▶▶▶ボタンを押して、同様に曲の頭出しができます。






聞きたいところを探す

(カードリモコンの操作のみ)

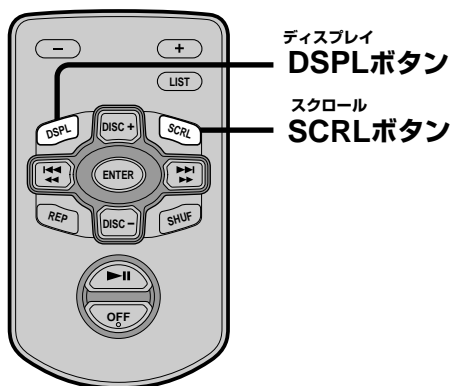
エーエムエス / マニュアル
AMS/MANUI◀◀◀/▶▶▶ボタンを押しつつ、聞きたいところで離します。



ちょっと一言

- 長時間録音されたMD再生時の早送り / 早戻し間隔は次のようになります。
LP2 : 約5秒間隔
LP4 : 約10秒間隔
- 「  」表示はディスクの先頭または終わりです。それ以上、早送り / 早戻しを進めることはできません。

MDを聞く (つづき)



表示の見かた

(カードリモコンの操作のみ)

DSPLボタンを押して表示を切り換えます。

DSPL

→ 再生経過時間 → ディスクの名前* → 曲の名前*

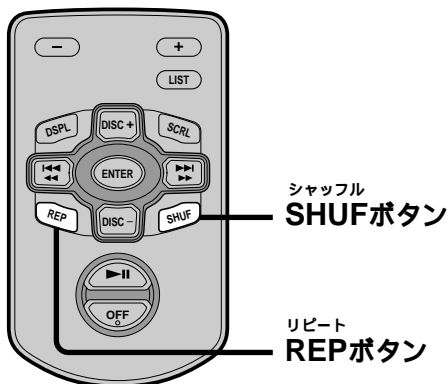
* MDに名前が記録されていないときは「NO NAME」と表示され、すぐに再生経過時間表示に戻ります。

長い名前は自動的にスクロール表示します。

MDに記録されている名前はアルファベット (小文字は大文字に変換)、数字、記号のみ表示できます。

長いディスク名、曲名をもう一度見たいときは、再生中にSCRLボタンを押します。

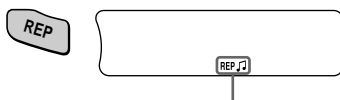
SCRL



繰り返し聞く(リピート演奏) リピート (REPボタン)

(カードリモコンの操作のみ)

再生中にREPボタンを押し、表示を切り換えます。



REP (トラックリピート): 再生中の曲を繰り返し再生する。

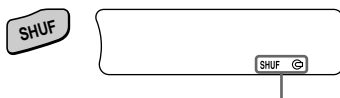
REP (ディスクリピート): 今のディスクを繰り返し再生する。

REP OFFにすると、そこからふつうの再生に戻ります。

曲順を変えて聞く(シャッフル演奏) シャッフル (SHUFボタン)

(カードリモコンの操作のみ)

再生中にSHUFボタンを押し、表示を切り換えます。

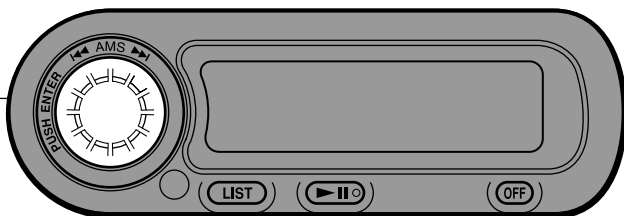


SHUF (ディスクシャッフル): 再生中のディスクのすべての曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHUF (チェンジャーシャッフル): チェンジャー内のすべての曲を順不同に再生する。

SHUF OFFにすると、そこからふつうの再生に戻ります。

送信周波数を設定する



本機ではMDをFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している（本機からFMチューナーへ送信する）周波数と同じ周波数のFM放送があると、MD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機の送信周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。



1 MD再生中に、ダイヤルを周波数が表示されるまで2秒以上押す。



2 ダイヤルを回して、周波数を選ぶ。

右に回すと、周波数は次のように切り換わります。

88.3 MHz → 88.5 MHz → 88.7 MHz → 88.9 MHz →
89.1 MHz → 89.3 MHz → 89.5 MHz → 89.7 MHz →
89.9 MHz → 88.3 MHz

左に回すと、逆順に表示されます。



3 最後にダイヤルを2秒以上押す。

4 カーオーディオのFMチューナーの受信周波数を合わせる。

カードリモコンで操作するには

以下のボタンを押して同様の操作ができます。



1 MD再生中に、ENTERボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す。



2 +/- ボタンを繰り返し押して、周波数を選ぶ。



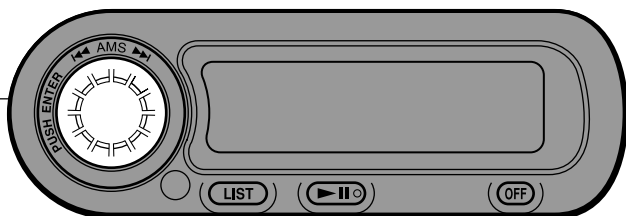
3 最後にENTERボタンを2秒以上押す。

4 カーオーディオのFMチューナーの受信周波数を合わせる。

ご注意

- 送信周波数の設定中は▶||ボタンおよびLISTボタンは働きません。
- 本機の送信周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録（プリセット）する周波数も変えてください。
- 電源が切れている状態（ディスプレイの表示が消えている状態）からリモコンで本機を起動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶||ボタンを押してください。

出力レベルを設定する



カーオーディオのFMチューナーの入力レベルに合わせて本機の音声出力レベルを3段階に設定できます。

ふつうは初期値 (LEVEL2) で使用しますが、必要に応じて切り換えてください。



1 MD再生中に、ダイヤルを2秒以上押す。



2 もう一度ダイヤルを短く押す。

LEVEL 2



3 ダイヤルを回して、出力レベルを選ぶ。

LEVEL1 ↔ LEVEL2 ↔ LEVEL3



4 最後にダイヤルを2秒以上押す。

カードリモコンで操作するには

以下のボタンを押して同様の操作ができます。



1 MD再生中に、ENTERボタンを2秒以上押す。



2 もう一度ENTERボタンを短く押す。



3 +/- ボタンを押して、出力レベルを選ぶ。



4 最後にENTERボタンを2秒以上押す。

ご注意

- 出力レベルを設定中は▶||ボタンおよびLISTボタンは働きません。
- 出力レベルを3に設定した場合、お聞きになるMDによっては音が歪んだり雑音が発生することがあります。その場合は、本機の音声出力レベルを下げた後、カーオーディオの音量を上げていき、好みの音量でお聞きください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
操作ボタンが動かない。	<ul style="list-style-type: none">• 内蔵のマイコンが誤動作している。 →ハイダウェイユニットのリセットボタンを押す。• 接続コード類がしっかり差し込まれていない。
カードリモコンの操作ボタンが動かない	<ul style="list-style-type: none">• カードリモコンの電池が消耗している。• カードリモコンとディスプレイが離れすぎている。
音がとぶ。音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none">• ディスクが傷ついている。 →他のディスクを再生する。

MDのエラー表示

MDチェンジャーが誤作動すると、エラー表示が約5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
ERROR	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
RESET	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	ハイダウェイユニットのリセットボタンを押す。
BRANK	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
NO DISCS	チェンジャー内のディスクが何らかの原因で全て再生できない。	ほかのMDに入れ換える。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカーオーディオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

MDチェンジャー (MDX-66XLPRF)

型式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
周波数特性	10Hz ~ 20,000Hz
ワウ・フラッター	測定限界以下
SN比	95dB以上
出力端子	バスコントロール出力端子 (8ピン) アナログオーディオ出力端子 (RCAピン)
消費電流 (ハイダウェイユニットを含む)	700mA (ディスク再生時最大値) 700mA (メカ動作時最大値)
使用温度範囲	-10 ~ +55
本体寸法	176×83.5×142 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.1 Kg

ハイダウェイユニット

使用周波数	88.3 MHz/88.5 MHz/ 88.7 MHz/88.9 MHz/ 89.1 MHz/89.3 MHz/ 89.5 MHz/89.7 MHz/ 89.9 MHz (切り換え式)
寸法	約104×33×88 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約250 g

ディスプレイ (RM-X85RF)

寸法	約127.5×41.5×24 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約145 g

カードリモコン (RM-X86RF)

寸法	約52×8.5×90 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約30 g (電池含まず)
電池	ボタン型リチウム電池 (CR2025)

その他

電源	DC12V カーバッテリー (マイナスアース)
付属品	取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1)
別売品	アンテナ変換コード RC-50、RC-185 (欧州車用) RC-150GM、RC-160GM (アメリカ車用) XA-82 (日産ダイバーシティ採用車用) バス/RCAピン延長コード RC-87 (2m)

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は、「ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品」です。

ご注意

本機には別売りのソースセクターは接続できません。

索引

あ行

- MD 16
- MDLP 17
- エラー表示 24
- 音質 16
- 音量 16

か行

- カードリモコン 9, 11, 15
- 曲の頭出し 19

さ行

- シャッフル 21
- 出力レベル設定 23
- 送信周波数切り換え 22

た行

- ディスクを選ぶ 18
- ディスプレイ 14

な、は行

- 表示の切り換え 20

ま、や、ら、わ行

- リセット 10
- リピート 21

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax ……………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

17:00

<http://www.sony.co.jp/>